

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 3826  
18年2月2日(金)  
・Fax 095-828-1953

## 労働条件はたたかい とることが原則だ!

おはようございます。

新年もあつとつ間に二月で、明日は節分。今年も国民的選挙がなく、安倍内閣は国民的争点となる改憲に大きく舵を取るとされる。いつもながらのやり方だが、これが政治で、油断大敵なのだ。

明後日は県知事選挙だ。い  
まから八年前の県知事選挙で、  
当時の政権党だった民主党も  
候補者を出したが敗北する。  
これから自民党が復権し、民  
主党政権の転落となった。八  
年前の長崎の敗北の責任は県  
民の力で返すしかない。



今年になり全国では地殻変  
動が起きている。一月十二日  
の沖縄・南城市の市長選挙で  
は、非自民が勝ち、また先週  
の岐阜市長選挙でも非自民が  
勝っている。今また辺野古の  
基地を問う沖縄の名護市長選  
挙がたたかわれているが、こ  
の非自民候補の勝利は、反基  
地「オール沖縄」の追い風とな  
っている。こちらも頑張る。

\*\*\* \*\* \*\* \*\*  
郵政ユニオン九地本は一月

二八日(日)に第六回地方委  
員会を開催し、春闘方針を決  
めた。いよいよ始まる。

今年はずまず進む官制・  
管理春闘の中、経団連もが  
3%の賃上げをいつている。  
労組もなめられたものだが、  
この官制春闘は、要求なし、  
争議なしだけではなく、労組  
そのものが不要とする攻撃と  
なる。労働者の生きるとりで  
「労組の落城が、資本家のネ  
ライだ。3%賃上げの是非論  
だけではない。

会社は事業危機とデフレ論  
を宣伝し、その裏、この間に  
史上空前の利益を手にし、内  
部留保金を三百兆円とした。  
資本のウソに国民は騙され続  
けているのだ。

この金とはとていば、  
労働者が働いた成果の三百兆  
円なのだ。それを、賃金を低  
く抑え、資本がぶんどつたの  
だ。「会社は株主のもの」とす



る新自由主義の会社論で、株  
主配当を七倍に上げ、1%の  
富裕層が全体の九割の富を独

占し、異様な格差社会となつ  
た。この格差社会は三代続け  
ば、階級分化となる。日本は  
新自由主義の四十年で、もう  
そこへきている。



富の独占、強欲資本主義の  
やりかたは、団塊世代の正社  
員の大量退職時代に、新規採  
用を非正規とすることだ。退  
職世代は一年間に百五十万人  
だが、若者世代は百万人だ。  
毎年五十万人ずつ減っていく。  
ちなみにいえば国内で働く外  
国人労働者は、厚労省の統計  
でも百二十八万人しかない。  
むろん論外の低賃金だ。黙っ  
ていても会社はぼろもつげな  
のだ。

さらに、たとえ正社員にす  
るとしても、従来の労働条件  
の半分の限定正社員とする。  
ずばりいえば、日本の会社は  
働く人の賃金を五割に引き下  
げ、内部留保金を三百兆円と  
したのだ。

これに対して正社員中心の  
労働組合は、この非正規化を  
黙認、推奨する。一例だが、  
今年四月からの労働契約法十  
八条の有期雇用の五年超者の

無期転換ルールを守らず、雇  
止めを強行し、労組もこれを  
黙認する。

いま、この攻撃を止め、非  
正規労働者の尊厳を取り戻す。  
これが労組の役割と責任なの  
だが、現実には労使一体で、非  
正規いじめを続けている。危  
険、汚い、きつい、厳しい四  
Kの仕事で、労使協約や就業  
規則で非正規に押しつける。

だがいったん非正規時代が  
定着するや、次に資本は正社  
員の権利はく奪へと動く。経  
済原則は「悪貨は良貨を駆逐  
する」で、賃金などの諸条件  
は蟻地獄的に下方へ移動する  
のだ。賃下げ、人不足などで、  
労働強化は日常だ。

また雇用では限定正社員化  
だ。名ばかり正社員で権利は  
従来の六割となる。郵政でも  
正社員試験の合格者はこれだ。  
非正規労働者はなにに期待を  
かければいいのか。

新自由主義の経済論は、ト  
リクルダウンだ。経済の果実  
はまず富裕層にいき、そのお



こぼれの下層の労働者に流  
れるというが、今年一月の統  
計で、世界の資産上位四一人  
は、世界総人口の半分(三十  
七億人)の資産と同じだ(国  
際NGO・オックスファム)。  
これは昨年では上位六五人だ  
つたから、今年はさらに格差  
が広がったのだ。



日本でも労働力不足(会社  
が意図的に新規補充をしな  
い)は明白で、また若者の人  
口減も深刻だ。国家の力は人  
口が示す。若者の雇用が非正  
規では結婚できない。子供も  
生めない。このことから日本  
国そのものが縮小している。

この危機感で、ようやく資  
本「経団連も3%の賃上げを  
いつが、時すでに遅しで、額  
も一ケタ違う。今必要なこ  
とは大幅な賃上げと正社員化で  
あることは数字が証明してい  
る。むろんこれは労働者がス  
トでたたかいたる以外にない。  
春闘は、非正規労働者の復権  
だけでなく、国や社会をた  
たすことなのだ。たたかいは正  
しい。がんばろう。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。めざせ、均等待遇、なくそう差別！ ユニオンは労働法裁判に勝利するぞ！